

No.	研究課題名 (主担当課・室名)	研究期間
フード・循環研究課		
1	腎臓透析患者に対応した防災食等機能性食品の開発	H28～32年
2	医学的エビデンスのある骨粗鬆症対応商品「抗ロコモ緑茶」とその関連商品の開発	H27～29年
3	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27～31年
4	生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発	H27～31年
5	生産コストの削減に向けた有機質資材の活用技術の開発	H27～31年
6	温暖化適応・異常気象対応のための研究開発	H27～28年
7	高品質青ネギの安定生産技術の確立	H27～28年
8	石灰窒素を用いた大豆収量向上施肥技術の確立	H27～28年
9	生産コスト低減及び塩基溶脱の低減が可能な肥効調節型尿素の検討	H27～30年
10	亜臨界水処理有機液肥による地域内有機質資源循環農業システムの構築	H25～29年
11	土壌適正管理・調査事業(有機物連用試験・定点調査)	S51～
12	農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査(土壌炭素調査)	H26～32年
13	コメ中ヒ素低減のための水管理実証試験	H28年
14	肥料監視・指導事業	H28年
地域連携研究課		
15	農作物被害を軽減するための包括的な獣害対策技術・手法の確立	H24～H28年
16	ICTによる農林が連動した獣害対策技術体系の確立	H28～H30年
17	集落営農組織企業化支援事業	H23～H28年
18	農業と福祉の新たな連携創出事業	H28～H31年
19	新たな農業の担い手発掘事業	H25～H28年
20	機能性ゴマ新品種の県内栽培適性の把握と栽培方法の確立	H27～H28年
21	次世代の果樹栽培法「根圏制御栽培法」導入実践による産地活性化	H28～H30年
22	亜熱帯果樹における国産化可能性の分析と栽培技術の開発	H28～H30年
23	新たな販売形態「粒ブドウ」出荷を実現する省力生産及び流通・貯蔵技術の確立	H26～H28年
24	果樹産地の振興のための省力化技術の開発及び新品種の有望性評価等	H28年
25	新農薬の実用化に関する研究	H28年
農産物安全安心研究課		
26	薬剤抵抗性菌未発生地域における防除体系の確立と効果検証(Qol剤)	H26～28年
27	有用微生物や抵抗性台木を利用した土壌病害および線虫害の防除技術の開発	H26～30年
28	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27～31年
29	食の安全・安心確保対策病害虫防除推進事業	H23年～

No.	研究課題名 (主担当課・室名)	研究期間
30	新農薬の実用化に関する研究	~ H28年 ~
農産研究課		
31	高温障害に強く各種病害に抵抗性を有する高品質・多収の中晩生水稲品種の開発	H27 ~ 29年
32	硬質小麦タマイズミの縞萎縮病と穂発芽抵抗性を強化した「スーパータマイズミ」の開発	H26 ~ 29年
33	イネのDNAマーカー選抜育種支援システムの構築(いもち病に強い三重23号作出)	H25 ~ 29年
34	実需者等のニーズに応じた加工適正と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26 ~ 30年
35	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27 ~ 31年
36	台風常襲地帯における安定多収栽培技術の確立と現地実証(稲WCS)	H27 ~ 31年
37	国産コムギの高品質・安定生産を実現する省力施肥技術の開発	H27 ~ 28年
38	高速汎用播種機の播種試験	H27 ~ 31年
39	竹成米の特性を受け継いだ新品種の開発	H26 ~ 28年
40	原種及び奨励品種決定調査事業 優良品種の選定	~ H28年 ~
41	新農薬の実用化に関する研究	H28年
42	飼料用稲の高品質安定生産技術および効率的流通保管技術の確立	H27 ~ 28年
43	機能性ゴマ新品種の県内栽培適性の把握と栽培方法の確立	H27 ~ H28年
44	在来大豆による地域未利用資源の活用	H28年
野菜園芸研究課		
45	SIPトマトのオミクス利用による新世代栽培技術開発	H26 ~ 31年
46	施設園芸の新しい匠を支援するシステムの開発	H28年
47	植物工場パイロット事業	H28年
48	種子繁殖型イチゴ「よつぼし」の全国展開に向けた省力栽培体系とICTネットワーク	H28 ~ 30年
49	種子繁殖型イチゴの効率的な播種技術の開発	H28年
50	三重県オリジナル種子繁殖型品種の開発	H27 ~ 29年
51	三重ナバナ新系統の安定生産技術の確立	H28 ~ 30年
花植木研究課		
52	薬用作物産地形成のための増殖法・栽培法の検討	H26 ~ 28年
53	薬用植物の国内生産の拡大に向けた技術の開発	H28 ~ 32年
54	花き花木ブランド作出のための資源探索と利用	H28年
55	新農薬の実用化に関する研究	H28年
茶業研究室		
56	手軽に楽しめる「かぶせ茶」を用いたEasy抹茶加工法の開発	H27 ~ H29年
57	茶新品種の導入に意欲的な生産者を支援するための挿し木技術の確立	H28 ~ H30年
58	茶育成系統評価試験	~ H28年 ~

No.	研究課題名 (主担当課・室名)	研究期間
59	実需者の求める色・香味・機能性成分に優れた茶品種とその栽培・加工技術の開発	H26～H30年
60	被覆茶需要に応える簡易な樹体診断法と効率的被覆作業による高品位安定生産体系の確立	H27～H29年
61	医学的エビデンスのある骨粗鬆症対応商品「抗ロコモ緑茶」とその関連商品の開発	H27～29年
62	北勢地域のかぶせ茶産地における栽培管理データおよび生産環境データを活用したかぶせ茶の成分品質向上技術支援	H28～30年
63	輸出相手国の基準に適した茶の病虫害防除技術の開発	H28年
64	新農薬の実用化に関する研究	H29年
伊賀農業研究室		
65	温暖化の進行に伴い発生が助長するごま葉枯病に対する抵抗性品種・系統の開発	H27～31年
66	県内実需者が求める新しい大豆品種の適性試験	H24年～
67	伊賀米の高品質安定生産を支える栽培技術の確立	H27～28年
68	新たな販売形態「粒ブドウ」出荷を実現する省力生産・貯蔵技術の確立	H26～28年
69	新農薬の実用化に関する研究	H28年
紀南果樹研究室		
70	クリプトキサンチンの供給源となる国産カンキツの周年供給技術体系の実証	H28～30年
71	アボカド、パッションフルーツなど亜熱帯果樹における国産化可能性の分析と栽培技術の開発	H28～30年
72	三重県産ウンシュウミカンの機能性表示支援	H28年
73	みえブランドカンキツ品種の産地強化支援技術の開発	H28年
74	みえ紀南4号の産地ブランド発掘事業	H28年
75	カンキツ系統適応性検定試験	H28年
76	新農薬の実用化に関する研究	H28年